

## 「緑の手入れ」今年もスタート！

6月6日（日）（午前8時30分～10時30分）、小学校入学前の子どもさんからご年配の方までたくさんの方々に参加していただき、今年第一回目の「緑の手入れ」を行いました。

天候にも恵まれ、将監沼風致公園内のゴミ拾い、沿道植え込みの除草、法面の下刈りなどの作業を行うことができました。

これまで6年間にわたる手入れの経験が活かされて、手際の良い作業で当初予定していたよりも大幅に作業を進めることができました。



緑あざやかな将監沼

これもひとえにご参加いただいた皆様のご協力があったからこそ、深く感謝申し上げます。

「キレイになったね！」との声に、疲れも吹っ飛び、差し入れのお茶もバナナも品切れ状態。みんな笑顔でお互いの功労に感謝しました！しかし、残念なことは、まだゴミポイ捨てが多いこと。あきかん・あきびん・ペットボトル・弁当の空箱・紙パック・植木鉢などが捨てられています。

ゴミ拾いを一生懸命された子どもたちの目には、どのように映ったのでしょうか？とても気がかりでなりません。皆さん、ゴミのポイ捨てはやめましょう！身近な里山を守っていただくではありませんか。今回ご参加いただいた皆様、大変お疲れ様でした。

次回、7月4日（日）からは遊歩道などの整備にも取り組んで参ります。疲れたカラダを晩酌で癒して、またご協力をお願い致します。（M・T記）



## 参加者の声



### 私が「緑の手入れ」を手伝う理由

子供たちが小さい頃、よく山へ虫を捕りに連れていきました。仕事柄どうしても山に入るのだが、夏場は今でも虫かごを持参している。カブトムシなどを捕まえて家に持ち帰るので、ときどき妻を困らせています。将監沼に・・・とも思うが、今の将監沼の林の状態では難しいように感じて、家で飼ったりご近所の子どもにあげたりしています。

先日、拾ったどんぐりを苗に育てているご夫婦にお話を聞くことができた。木々が若返り、風通し・日当たりの良い林になれば、虫や小動物も居着くかもしれないという。桜の時期だけでなく、木々や花や生き物を愛でながら一息つける沼になったら良いなど、「緑の手入れ」に参加して整備作業を手伝っています。（小笠原規夫）



### 将監沼の清掃に参加して

子供たち（友紀乃・小6、義人・小3）といっしょに、清掃活動に参加しています。将監沼の周りがとてもキレイになったねと喜んでます。世代を超え、みんなでかけがえのない自然を守っていくこと、とても大事なことだと思います。一人でも多くの方が参加するよう、皆さんで声がけしましょう！（村上昭浩）

